

国際シンポジウム

グローバル感染症対策の最前線

—アフリカの顧みられない熱帯病・ブルーリ潰瘍対策を考える—

2018年11月18日(日) 13:00~16:20

場所：神戸国際大学2号館4階2402教室

参加費：無料（事前予約は不要です。直接会場へお越しください。）

プログラム

開会の挨拶 下村雄紀氏（神戸国際大学 学長）

リハビリテーション学部創設10周年を迎えて 武政誠一氏（神戸国際大学リハビリテーション学部 学部長）

神戸国際大学/Project SCOBUの取り組み 福西和幸氏（九州国際大学現代ビジネス学部 教授）

障害予防に対するPT技術教育支援 小枝英輝氏（神戸国際大学リハビリテーション学部 教授）

講演1 『Rehabilitation in Buruli Ulcer Management : Is it Still Relevant after Antibiotics Treatment?』

キンスレー・アシュード(Kingsly Asiedu)氏（世界保健機関[WHO]）

講演2 『社会の中の患者・回復者たち 希望を求めて』

福西征子氏（国立療養所松丘保養園名誉園長）

ほか

パネルディスカッション／質疑応答

閉会の挨拶

総合司会：藤倉哲哉（神戸国際大学経済学部 准教授）

【お問い合わせ】

神戸国際大学ブルーリ潰瘍問題支援プロジェクト事務局

☎：078-845-3410

✉：scobu@kobe-kiu.ac.jp

（主催）神戸国際大学ブルーリ潰瘍問題支援プロジェクト

（共催）兵庫県、神戸国際大学

（後援）兵庫県医師会、六甲アイランド地域振興会、神戸国際大学学術研究会



HYOGO
150th
Anniversary

平成30年、兵庫県は成立150周年を迎えます。この節目にあたり、ふるさと兵庫を再認識し、新たな兵庫づくりを考える機会とするため、当該事業を実施します。



神戸国際大学

